



文化の家の創立当初から関わつてこられた畠山勝人さんが館長に就任されました。特に思い入れのある企画が「劇王」。その成り立ちと熱い思いを文章に寄せさせていただきました。

「フジヤフサーキット」2年目は、不条理劇で評価が高い佃典彦さん主宰の「劇団B級遊撃隊」。

劇作家が短編戯曲を書いたり観たりする

は韓国・香港・シンガポールからも参戦しての劇王アジア大会が開かれ、多文化に触れる演劇が話題を呼びました。

2022年は良い年の新た
な幕開けになることを“縁
劇”を通じて願つております。

人生を変えた「劇王」

文化の家館長

勝人山叔

良い年の
新たな
幕開けに



「長久手演劇王国」、この
ネーミングが生まれたのは
20年以上前のことでした。

人口3万5千人ほどの小さな町に、ホールや練習室、憩いの場などを併設した複

98年の夏でした。開館と同時に様々な自主事業が計画されました。

その中に「演劇事業」があります。りそのひとつに、長久手演劇王国があります。「長久手を演劇の王国にする?」そのよ

演劇王国とは？

その成果の現れとして、長久手演劇王国第3弾では、7作品に9劇団が参加し、劇作家によるシンポジウムも行われました。

「劇王」と命名

熱い戦い

人生を豊かに

た作品を出品したりして第12代劇王に挑みます。

A man with glasses and a dark suit jacket is holding a large, ornate mask. The mask is gold-colored with a lion's head and features red and green decorative elements. It appears to be a traditional or theatrical prop.

チャンピオンベルトを掲げる館長

「人生を変える
流は演劇で～」となりました。

トルマツチ劇王が誕生しました。因みにジュニアは短編、ラ
イトは書く（戯曲）を表し、演劇のチャンピオンである劇王と命名したのででした。

休戦状態であつた劇王は

次回は来年2月